

## まちづくり提案

### 京都醍醐 御霊ヶ下町・大構町

～インターネットを活用し、町内会で情報発信～

地域まちづくりを進めていくには、地域への愛情と誇り、そして管理能力の向上と協力関係のネットワークづくりが必要とされます。特に管理能力の向上には、情報の共有方法、意思決定のプロセス、手法の確立といったことが重要ですが、これらにはそれぞれの地域での創意工夫が必要です。



ホームページのトップページ

今回は、地下鉄東西線開通により、新しいまちとして発展していくことが期待されている醍醐地域で、情報の共有手段として、インターネットを活用している伏見区醍醐御霊ヶ下町・大構町町内会長の佐治正雄さん、同広報部長の奈良磐雄さんにお話を伺いました。

ホームページには学区の行事や地藏盆などの情報だけでなく、町内でのクラブ活動や町内のお宅の花壇、昔の風景、広くは醍醐の歴史や名所紹介など、生活に密着した情報が盛りだくさん。「平成9年4月に開設しましたが、思わぬ所からホームページを見たという感想をいただき、驚くこともあります。私たちはここに住んで良かったと思えるようなまちづくりを展開したいと考えていますし、ホームページはそのための1つの手段として、情報を提供しています。町費を使って維持管理していますので、町内の皆さんの理解と協力があって成り立っています。情報発信側としては、掲載内容には責任を持つ必要があると感じています」と佐治町内会長。

「電子広報誌的なホームページを町内の有志の協力を得ながら作っていますが、道で会ったらお互いが挨拶できる温かい関係を作り上げていくことを目的としています。また、町内がホームページで情報発信していることを、自慢に思う住民が少しずつ増えてきてい

るのも確かです。不特定多数の人に見られているという意識が、町内を良くしていきたいとい

う気持ちと行動につながっていけばいいと思います。今後は町内の人同士の情報の媒体としてもっと活用して欲しいですね。また他の町内との連携も図りたいと思います。現在自宅でインターネットを見ることができない人は、区役所などのコンピューター端末で見っていますが、もっと簡単に身近で見ることのできる場所が増えるといいですね。また双方向の情報交換ができればいいと思っています」と京都芸術短期大学でビジュアルデザインを教えている奈良広報部長。

電子メディアで発信されるわがまち情報は、事実を客観的に捉えることができ、まちへの愛情と誇りを一層醸成するのではないのでしょうか。更に電子広報誌としての情報共有のツールとして機能し、広くネットワークを形成していく契機となるものと期待されます。

ホームページアドレス

<http://www.mediawars.ne.jp/> daigono1/



佐治町内会長(左)と奈良広報部長(右)